

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

観光課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市川古の大楠公園			
所在地	武雄市若木町大字川古7845番地1			
施設の設置目的	本市の観光事業の振興及び憩いの場として市民の利用に供するため、武雄市川古の大楠公園を設置する			
指定管理者	団体名	若木町まちづくり推進協議会		
	所在地	武雄市若木町大字川古7474番地		
非公募	指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日	評価実施年	5年のうち1年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1 施設利用者数（人）	26,000	22,410				
2 自主事業収入（円）	10,000,000	10,232,291				
3						
4						

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入計	17,460				
指定管理料	6,978				
利用料収入	250				
自主事業収入ほか	10,232				
支出計	17,428				
事業費	7,196				
内 人件費	5,153				
内 再委託料	0				
自主事業費	10,232				

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	E	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の 情報提供がされている	B	C
3 サービス向上 の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	C
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	C
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	A	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	D	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	C
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	A	C
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	A	C

5 指定管理者の自己評価

4-1人員体制 スタッフの退職に伴う補充が難しく長期化している（レジ・接待係）
 4-7修繕改修 水路に面した手すりが腐食してグラグラしている。そういった箇所の応急対策はしているが全体までは手が回らない。市の予算の都合はあると思うが、事故があってからでは遅いと思っている。

6 所管評価

施設はきれいに手入れされている印象を受ける。軽微な故障は指定管理者が業務中に修繕していて、大きな故障は市に迅速な報告を行っている。
 販売商品は様々な種類を仕入れる努力をしており、従業員の接客態度も良好である。
 業務内容に対し人員配置が過剰に見える部分もあるが、大型観光バスの来訪が読めない状況を踏まえると、一定の合理性はあると考えられる。定期的にイベント等も実施しており、売上も目標達成できている。今後は情報発信等に力を入れていけるとさらに良い施設になると考える。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

観光課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市竹古場キルンの森公園			
所在地	武雄市武内町大字真手野24001番地1			
施設の設置目的	本市の観光及び産業の振興並びに憩いの場として市民の利用に供するため、武雄市竹古場キルンの森公園を設置する			
指定管理者	団体名	武雄市竹古場キルンの森公園運営協議会		
	所在地	武雄市武内町大字真手野24001番地1		
非公募	指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日	評価実施年	5年のうち1年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1 施設利用者数（人）	6,000	6,377				
2 自主事業収入（円）	2,000,000	5,048,804				
3						
4						

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入計	13,218				
指定管理料	7,935				
利用料収入	234				
自主事業収入ほか	5,049				
支出計	12,644				
事業費	7,954				
内 人件費	6,371				
内 再委託料	0				
自主事業費	4,690				

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の 情報提供がされている	C	B
3 サービス向上 の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	C	C
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	C	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	C	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	C	C
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	B	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	C
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

5 指定管理者の自己評価

専門職員が1人交替し、SNSの発信が昨年度（R6年度）と比較すると減少したりネット予約も昨年度ほど多くなかった。
昨年度は新型コロナが5類に移行し、お出かけ出来なかった反動もあったのでお客様が多かったと思われるが、本年度（R7年度）はそれが少し落ち着いたように見受けられた。それでも目標の数字は達成できたので良かったと思います。イベント企画も例年通り開催できたが少しでも新しい内容の企画を今後は考えていきたい。体験の作品の件で苦情など数件ありましたがこちらができる範囲で丁寧に対応しました。

6 所管評価

観光協会等各団体と連携して、顧客獲得に力を入れている点が評価できる。また、ウェブサイトとSNSで情報発信を行ったり、キャッシュレス端末も利用したりして、観光客の利便性が良い。結果として売り上げがのびている。
施設も清潔に保っており、周辺環境も手入れがなされている。また、専属スタッフの待遇に対して日々改善を検討するなど、職場環境の改善についても取り組んでいる。
今後はさらに情報発信等に力を入れていけると、もっと良い施設になると考える。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

都市政策課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市矢筈ダム広場			
所在地	武雄市西川登町大字神六28819番地4			
施設の設置目的	余暇時間の活用及びレクリエーションの場として市民の使用に供するため			
指定管理者	団体名	西川登町町づくり推進協議会		
	所在地	武雄市西川登町大字神六20114番地4		
非公募	指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日	評価実施年	5年のうち1年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
1 施設利用者数（人）		2,826				
2 施設利用収入（円）		8,400				

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入計		1,669				
	指定管理料	1,660				
	利用料等収入	8				
	自主事業収入ほか	1				
支出計		1,669				
	事業費	1,669				
	内 施設管理費	1,327				
	内 植栽管理費	168				
	内 一般管理費	174				
	内 備品購入費					

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の 情報提供がされている	B	B
3 サービス向上 の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	C	C
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	C	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	A
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	B	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	B	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	B	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	B

5 指定管理者の自己評価

施設の利用については、グラウンドゴルフ、野球等の練習等の利用が増えてきている。しかしながら夏季においては、猛暑の影響もあり屋外での利用者が少なくなっている。
また、施設の維持管理（除草、剪定等）が適正に行われているため、施設利用者から利用しやすいとの意見を頂いており、口コミなどで、町内はもとより、市内外の方からも利用が増えている。
施設付帯設備の状況確認等を適宜行い、施設の利用者が安心して利用できるよう努めた。
全体的に見て、施設は適正に管理ができています。

6 所管評価

施設の管理や利用者対応について、問題なく実施されている。
夏季においては猛暑による施設利用者数への影響があると思われるが、年間を通してみれば一定の利用者数を維持することができている。
昨年度より施設利用収入も微増しており、引き続き、適切な施設の維持管理と施設利用者の利便性向上をお願いしたい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

生活環境課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市営住宅等			
所在地	武雄市武雄町大字武雄3340番地2 ほか16団地			
施設の設置目的	住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸することにより市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与すること			
指定管理者	団体名	武雄ガス株式会社		
	所在地	武雄市武雄町大字永島15943番地		
非公募	指定期間	令和7年4月1日から令和12年3月31日	評価実施年	5年のうち1年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
1 管理戸数（戸）		855					年度末現在
2 入居戸数（戸）		651					年度末現在
3							
4							

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入計	43,890				
指定管理料	43,890				
利用料収入	0				
自主事業収入ほか	0				
支出計	45,127				
事業費	33,074				
内 人件費	11,828				
内 事務所経費	2,389				
内 再委託料	18,857				
修繕費	12,053				
自主事業費	0				

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	A	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の情報提供がされている	C	C
3 サービス向上の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	C
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	B	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	A	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	A	C
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	B	B
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	B	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	C

5 指定管理者の自己評価

予算に対して最大限取り組む事ができたと思います。

6 所管評価

生活困窮者のための住宅という趣旨を理解され、公平で円滑な業務を遂行して頂いている。
 今後は、市からの依頼した事項などに対しては、報告を返すようにして頂くこと、定期的な住宅の巡回をもとに、気づきがあれば自主的考察による改善提案を頂くこと及び提出書類は自社でチェックをして期限内提出をして頂くことを期待する。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

文化課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市図書館・歴史資料館			
所在地	武雄市武雄町大字武雄5304番地1			
施設の設置目的	市民の教育、学術及び文化の振興を図るため、図書、記録、歴史資料その他必要な情報を提供する生涯学習施設			
指定管理者	団体名	カルチャ・コンビニエンス・クラブ株式会社		
	所在地	大阪府枚方市岡東町12番2号		
公募	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	評価実施年	5年のうち3年目

2 利用状況

成果指標		目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1	来場者数（人）	800,000	872,007	891,767	913,465		
2	図書利用者（人）	120,000	128,502	129,668	123,883		
3	図書貸出数（冊）	350,000	372,722	364,642	350,511		
4	開館日数（日）	365	365	364	365		
利用 満足度	本館	80.0%	95.8%	94.2%	93.8%		
	こども館	80.0%	99.5%	100%	100%		

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入計		189,181	189,133	204,200		
	うち指定管理料	188,992	188,992	204,082		
支出計		189,190	198,055	204,200		
	うち出版物購入費	15,381	15,018	11,865		
	うち講座等運営費	5,990	5,606	5,517		
	うち設備管理費	15,516	13,904	14,315		
	うち水道光熱費	16,239	18,671	18,480		
	うち人件費	105,909	114,693	107,946		

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組がみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 必須事業	読み聞かせ、各種講座、イベント等の必須事業が確実に実施されているか。	A	A
2 提案事業	市民の利便性向上、市民がより豊かな生活を実現するための事業を積極的に行っているか。	A	A
3 図書館管理業務	窓口サービス、レファレンスなど適切に行っているか。また、選書基準を遵守しているか。	B	A
4 人員体制	円滑な管理運営のために必要な人員を配置しているか。また、職員研修を実施しているか。	A	A
5 サービスの向上	利用者の意見を反映し、サービス向上に向けた取組を行っているか。	A	A
6 施設、備品等の維持管理	施設、設備の保守点検、安全確認など確実に実施し、修繕対応など速やかに行っているか。	B	B
7 環境への配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組を実践しているか。	B	B
8 広報・誘客対策	魅力的な情報発信を行っているか。また、新たな誘客のための工夫を行っているか。	B	B
9 地域との連携	ボランティア団体、地域団体、学校、公民館等と連携を図っているか。	A	A
10 自主事業	指定管理業務に支障が出ない範囲において、カフェ等魅力を高める事業を行っているか。	A	A
11 経費削減	コスト意識を持ち、サービスの低下につながらない範囲で経費削減の取組を行っているか。	A	B

5 指定管理者の自己評価

令和7年度の来館者数は913,465人となり、前年度比102.4%と増加した。一方、図書貸出冊数は350,511冊で前年度比96.1%、図書利用者数は123,883人で前年度比95.5%となり、いずれも前年度を下回る結果となった。

利用者アンケート結果においては、利用者満足度が本館で93.8%（前年度94.2%）、こども館で100%（前年度100%）となり、引き続き高い水準を維持している。

イベント事業については、前年度に引き続き、利用者要望の高い音楽の生演奏や映画上映会を定期的実施した。映画上映後には感想のシェア会を開催するなど、利用者同士の交流を促進し、コミュニティ形成を意識した内容の充実を図った。現在、定期開催している語学講座や「絵本でナイト」など、すでに地域コミュニティとして定着している事業も継続して実施している。今後も、図書館が市民の居場所としての役割を果たせるよう、コミュニティの形成・深化を意識した取組を進めていく。

6 所管評価

来館者数は前年度比102.4%と増加し、利用者満足度も引き続き高い水準を維持している。

魅力的なイベントの定期開催やコミュニティ形成の取組は、市民の居場所づくりに大きく貢献している。特に、新システムの導入に際し、現場で丁寧かつ柔軟に微調整や対応を行った点や、一流の音楽や地元の仕事人と連携した、プロの仕事を幅広い市民に伝える質の高いイベントに様々な工夫を凝らした点は高く評価できる。

一方で、図書貸出冊数および利用者数が前年度を下回ったため、今後はこれらを引き上げるためのアプローチが課題である。優れた企画力と丁寧な現場運営を活かし、読書推進や貸出数増加に向けた次なる創意工夫を期待する。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

都市政策課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市乳待坊公園いこいの広場キャンプ場			
所在地	武雄市山内町大字宮野1864番地			
施設の設置目的	自然のもつ豊かな資源の活用を通じ、市民に憩いの場を提供することにより、資源愛護思想の普及と健康の増進を図るため			
指定管理者	団体名	株式会社ヒューテック		
	所在地	武雄市北方町大字大崎1100番地8		
公募	指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日	評価実施年	5年のうち4年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1 施設利用者数（人）	5,000	6,555	4,836	3,901	3,899	
2 自主事業収入（千円）	240	364	376	341	335	

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入計	11,733	11,201	10,756	10,850	
指定管理料	8,882	8,882	8,882	9,226	
利用料収入	2,487	1,943	1,533	1,289	
自主事業収入ほか	364	376	341	335	
支出計	10,483	10,048	9,597	21,196	
事業費	9,877	8,696	9,518	10,515	
内 人件費	5,975	6,266	7,131	7,894	
内 再委託料	3,902	2,430	2,387	2,621	
自主事業費	606	1,352	79	166	

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	A	B
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の 情報提供がされている	C	B
3 サービス向上 の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	C	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	A	A
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	A	A
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	C	B
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	B	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	A	A
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	A	B
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	A	B
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	C	B

5 指定管理者の自己評価

【人員関係】

現場の維持管理については、スタッフの変更もあったが管理に適正な人員を補充し運営に問題がない人員体制で現場管理ができていた。

【運営管理】

運営管理においては、担当変更もあり市への報告書類等の遅延を発生させてしまったため改めて報告方法などを見直し改善に努める。

【利用者対応等の運営管理】

利用者への対応は現場と運営が連携し迅速に対応していた為、クレーム・事故は発生なく運営できていると判断している。新規スタッフへの指導を徹底し継続していきたい。HPの問い合わせも早急に対応し、お客様からの問い合わせに適切に対応できている。

【経費など】

利用者の満足度が下がらない程度のイベントクオリティの維持を行った上で、イベント回数を減らしたりイベントの費用を削減し固定費以外の削減を行った。
経費に関しては人件費の高騰・物価高騰に伴うその他管理費の高騰でなかなか削減の取組みができていないこともある。
イベントの前身など見直し費用を抑えた上で、キャンプ場の魅力度向上を図るイベント計画をしっかりと行っていきたい。

6 所管評価

指定管理4年目となり、SNSによる情報発信、施設の管理や利用者対応も適切に行っていただいている。また、工夫を凝らしたイベントも企画され、多数の参加があっている。利用者数はR6年度と比較すると微減となっているが、天候やキャンプブーム等の落ち着きによる影響がある中、一定の利用者数を維持することができている。引き続き、利用者の利便性の向上とキャンプ場の魅力化を図り、利用者数の増加を目指していただきたい。
加えて、周辺地域の振興につながるような取り組みも期待したい。

指定管理者実績報告の概要及び評価

所管課

スポーツ課

1 対象施設

公の施設の名称	武雄市体育施設			
所在地	武雄市武雄町大字武雄4866番地 他23件			
施設の設置目的	市民の体育の普及振興を図り、もって市民の健康の増進に寄与するため			
指定管理者	団体名	武雄市体育施設管理運営共同企業体		
	所在地	武雄市朝日町大字甘久3589番地2		
公募	指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日	評価実施年	5年のち3年目

2 利用状況

成果指標	目標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 施設利用料（千円）	25,588	16,261	20,516	19,822		
2 自主事業収入（千円）	12,445	4,656	7,147	7,396		

3 指定管理業務にかかる収支状況

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入計	147,269	154,013	158,023		
指定管理料	126,350	126,350	130,805		
利用料収入	16,262	20,516	19,822		
自主事業収入ほか	4,657	7,147	7,396		
支出計	147,269	154,013	160,467		
事業費	145,742	152,463	148,884		
内 人件費	57,630	53,489	60,728		
内 再委託料	42,275	41,833	40,360		
自主事業費	1,527	1,550	11,583		

評価

A	十分な成果が認められる。業務に対し積極的な工夫や改善の取組がみられ、成果が表れている。
B	成果が認められる。業務に対し工夫や改善の取組みがみられ、今後成果の成果が期待される。
C	標準的な業務の水準を満たしている。
D	業務の水準に対し改善すべき事項がみられる
E	業務の水準を満たしておらず、すみやかな改善が必要である。

4 事業評価

区分	評価項目	自己評価	所管評価
1 人員体制	施設の運営に支障がないスタッフの配置と研修の実施	C	C
2 情報提供	ホームページやSNS、掲示板、回覧板等適切な方法での施設の 情報提供がされている	B	D
3 サービス向上 の企画立案	サービス向上のための取組があり、実践している。	B	B
4 施設利用	利用者が施設利用にあたってスムーズに手続きができる。 利用者が不便なく施設利用ができる。	B	B
5 施設維持管理	施設の維持管理が適正に行われている。	C	C
6 物品の管理	物品の管理が適正に行われている。	C	C
7 修繕改修	施設の修繕が適正に行われている。	C	B
8 利用者対応	利用者への対応が適正に行われている。	C	C
9 苦情対応	利用者からの苦情に対して、対応ができています。	C	C
10 環境配慮	周辺環境や環境負荷に配慮した取組があり、実践している。	C	C
11 経費削減	経費削減につながる取組があり、実践している。	B	C

5 指定管理者の自己評価

令和7年度は、山内プールおよび天神崎テニスコートの改修工事に伴い施設使用料が前年比96.6%に留まったものの、通常稼働であれば100%を超過する水準であり、スポーツ・文化利用に加え、減免拡充や暑さ対策を背景とした学校行事での利用が増加したことで、利用者数は前年比120%と大幅な伸びを記録しました。年度当初の段階でワンスポの週末予約は8割以上が大会・イベント等の優先予約で埋まるなど、需要の高さを再認識する1年となりました。自主事業においては、ビアフェスやソフトテニスイベントの開催に加え、これまで単独開催であった高齢者向け教室を、山内・北方エリアへ横展開し、幅広い層へのアプローチを行いました。集客面に課題は残りましたが、次年度はピククルボールなどの新たなコンテンツを導入し、平日昼間における高齢者層の運動参加率向上に向けた取り組みをさらに強化していく方針です。また昨年度からの課題である環境整備については、常時2名体制を整備したことで利用者様からのご要望にも迅速に対応できるようになり、少しずつ改善が見られました。一方で窓口対応についてはスタッフ間で接客レベルに差があり、利用者様からのご指摘が度々寄せられているため、今後は継続的な研修の実施やスタッフ配置の再検討などを行い、皆さまが心地よく利用できる環境づくりに努めてまいります。

6 所管評価

サービス向上の取組については、昨年から引き続き、ピックルボールの普及活動や、各種イベントの提案など、幅広い取り組みがなされている点が評価できる。

情報提供については、地元から「イベントが開催されている際の確認方法がない」などの指摘を受けている点や、実際にHP等での告知が追いついていない点など、改善の余地が多く見られるため、「D」評価とした。

施設の修繕については、緊急を要するものや、本来はスポーツ課で対応すべき規模のものまで対応しているケースも散見されるため、「B」評価を与えている。

利用者対応については、自己評価では昨年の「D」評価から「C」評価へ改善されており、所管評価も同様としている。ただし、これについては各施設とも指定管理となる前からの管理人等がまだ存在しており、従来からのやり方等を変えきれず、利用者とトラブルとなるケースもある。その都度、指導・教育を繰り返していることは確認されているので、この評価としている。